



# 環境債務ポートフォリオ マネジメント及び汚染対策

Limiting Liabilities & Unlocking Regeneration Opportunities

Sustainability is our business

© Copyright 2024 by The ERM International Group Limited and/or its affiliates ("ERM"). All rights reserved. No part of this work may be reproduced or transmitted in any form or by any means, without prior written permission of ERM.



# 持続可能な汚染対策

低炭素経済における環境債務ポートフォリオの管理及び土壌等の汚染対策を最適化

## 持続可能な土壌汚染対策とは？

持続可能な土壌汚染対策は近年、国際規格ISO18504:2017の中で次のように定義されています。

「受け入れ難いリスクを適切な時期に安全に低減管理をしながら、環境、社会および経済の価値を最適化すること」。

定義は明確であるものの単一の指標はなく、法規制上の要求事項も明確でなかったり、所管行政や関係法令により異なることがよくあります。

ERMは貴社のサイトやサイトポートフォリオに関連するサステナビリティの範囲を理解すること、企業に適用される法規制に関連した一連の指標並びにアプローチを作成する手伝いをいたします。



# 持続可能な汚染対策

低炭素経済における環境債務ポートフォリオの管理及び土壌等の汚染対策を最適化

## 持続可能な汚染対策を適用する時期はいつか？

計画段階から調査、浄化手法オプションの評価及び実施を通じて、持続可能な土壌や地下水などの環境汚染対策の原則は、汚染地の管理ライフサイクルのどの段階においても適用可能です。ライフサイクルの早い段階で持続可能な土壌汚染対策を考慮、適用するほど、より多くの恩恵が得られます。

ERMは、貴社のサイトがライフサイクルのどの段階にあっても、持続可能な土壌汚染対策の原則及び慣行を適用する機会を特定、実施する支援をいたします。また貴社の企業目標を反映した経済的、社会的および環境的指標を選択し、モニタリングする支援をいたします。



# 持続可能な汚染対策

低炭素経済における環境債務ポートフォリオの管理及び土壌等の汚染対策を最適化

## 持続可能な土壌汚染対策のメリットとは？

持続可能で弾力的な土壌汚染対策に対するERMのアプローチは、顧客が個別サイトまたはサイトポートフォリオを管理することを、以下のように支援します。

- バランスシート上の損益に貢献しながら、汚染地に関連するリスクを管理すること
- サイトを負債から資産に転換すること
- サステナビリティ主要評価指標 (KPIs) 及び国連の持続可能な開発目標 (SDGs) の認識とそれらに対する貢献を通じて、顧客のサステナビリティに対する方針に沿えるようお手伝いすること



# 持続可能な汚染対策

低炭素経済における環境債務ポートフォリオの管理及び土壌等の汚染対策を最適化

- 汚染地の管理には、リスク並びに短期及び長期両方の負債の低減という第一目標があります。しかしながら、土壌汚染対策という活動には著しい環境的、社会的、及び経済的影響をともなう場合があります。
- ERMは、低炭素経済への移行などのビジネス環境の変化に合わせて、土地や事業資産の抱える環境汚染を含む環境債務に関するポートフォリオ管理や調査浄化対策、工場解体などの総合的なサービスを提供します。
- 顧客に対して弾力的で持続可能なソリューションを実現するリーディングカンパニーとして、顧客が損益利益を最大化しながら汚染対策の選択肢を最適化し実施すること、汚染サイトの管理を貴社の企業サステナビリティ目標に合致させることを支援いたします。

- Project Life Cycle
- The Tiered Approach to Sustainability Assessment
- Sustainability Indicators
- The Transition to a Low Carbon Economy
- The Role of Quantifying Indicators
- Sustainable Development Goals (SDGs)
- Clarifying the Uncertainty
- Resiliency of Remediation Systems
- Nature Based Remediation

# How ERM can help



## 環境債務ポートフォリオ管理

総じて汚染サイトポートフォリオの管理には、多数のサステナビリティ指標という点で著しい影響を伴います。企業は、汚染対策ポートフォリオを管理する主要指標を追跡するために、データ管理及び可視化ツールを利用するようになっています。サステナビリティ指標はダッシュボードに統合され、企業の総合成績へのフィードバックを行います。それにより、アプローチの持つメリットを特定、追跡し、good practiceの共有を可能にします。

ERMは貴社に関連する一連の指標の特定及びモニタリングを行うこと、並びに得られた所見を使用して改善の機会を特定し、事業利益のためのサステナビリティゲインを最大化することのお手伝いをいたします。

# How ERM can help



## 個別サイトの評価

個別のサイトにとって、持続可能な土壌等の汚染対策の原則の導入は企業目標、法規制の枠組み、及び特定の地域で適用あるいは考慮される手順に統合することが可能です。これは社会的及び経済的側面をはじめとして、実施段階で、利益の実現に至るまで、最適な管理ソリューションを特定する助けとなります。

ERMはこれまで、多様な定性的及び定量的技術を駆使し、世界各地のサイトで持続可能な土壌等の汚染対策を適用することに成功してきました。また特定のサイトや特定の状況に対する適切なアプローチを策定することが可能です。

ERMは日本国内では土壌汚染対策法に基づく指定調査機関の登録を受けており、その法的要求事項のみならず国際企業から要請の多い米国及び欧州の基準と手法を組み入れることに関しても実績を有しています。

# Sustainability is our business

## 世界最大のサステナビリティ専門 コンサルティングファーム

1971年設立、サステナビリティに特化した世界最大のファームとして専門知識と幅広い知見を有しています。

### 世界のリーディングカンパニーのパートナー

世界有数の代表的企業における持続可能性の推進をサポートし、より良い未来を実現します。

### サステナビリティのThought Leader

数々のベンチマークやレイティングにおいてマーケットリーダーとしての地位を確立しており、案件の過半数が特命契約であることも、クライアントからの信頼を裏付けています。

イー・アール・エム日本は、ERMグループとして1980年代から日本での活動を開始、1999年に日本法人を設立しました。日本の大手  
上場企業に対しても、多くのコンサル実績があります。

## ERM OVERVIEW

8000+

専門家

40

国・地域

気候変動コンサルティング  
リーダー

Verdantix Green Quadrant  
2023

150+

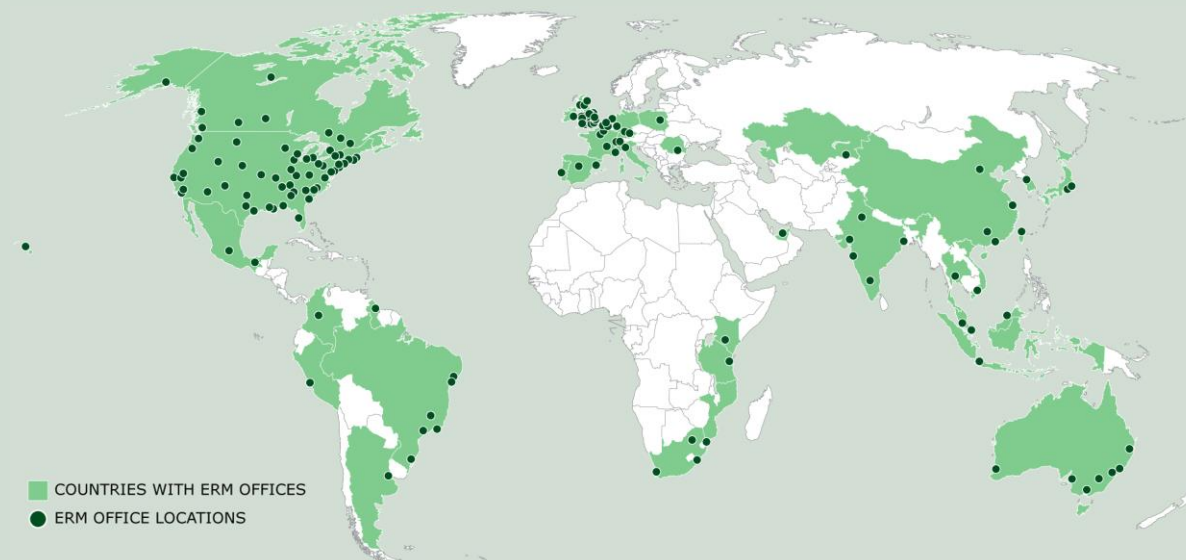
オフィス

50+

年の経験

#1

サステナビリティサービス  
プロバイダー- HFS 2022



ERMの実績

Fortune 100企業の

70%

Fortune 500企業の

55%

# お問い合わせ

Sam Fisher  
Consulting Partner  
[sam.fisher@erm.com](mailto:sam.fisher@erm.com)

星野 隆行  
Consulting Partner  
[takayuki.hoshino@erm.com](mailto:takayuki.hoshino@erm.com)

黒坂 真生  
Principal Consultant  
[masao.kurosaka@erm.com](mailto:masao.kurosaka@erm.com)

## イー・アール・エム日本株式会社

本社  
〒220-8119  
神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1  
横浜ランドマークタワー19階

東京オフィス  
〒100-0004  
東京都千代田区大手町1-6-1  
大手町ビル5階

大阪オフィス  
〒530-0017  
大阪府大阪市北区角田町8-47  
阪急グランドビル20階